

常州への旅 ④

日本で上海浦東空港から虹橋空港までタクシーで移動するルートを検索すると、時間が 1 時間、費用が約 1 万円と出ていました。

実際にはどうだったのか、男性の言い値は“444 元”でした。空港で交換したレートは、1 万円が 462 元でしたから約 9600 円です。ほぼ同じですね。

でも時間は 1 時間半かかりました。途中渋滞に巻き込まれて、思った以上に時間がかかり、タクシーの中から劉老師に連絡を入れて、高鉄の時間を遅らせてもらいました。電話で変更ができるのが便利です。

私たちは虹橋空港から高鉄に乗って常州に行くことを伝えて、一番都合の良い場所に泊めてもらいました。その交渉は、スマホの翻訳機能を使い、運転手もスマホで質問をします。そのおかげで、高鉄の時間を遅らせることができたのです。

ここまで書いてきて、中国で値切ることを忘れていました。日本では値切る行為をしないので、中国での頭の切り替えができていないのです。残念でした。

日本で高速を 1 時間走ると、約 80 キロぐらいでしょうか、岡山から姫路ぐらいですね。それが同じ上海市なのですから、とにかく広いですね。この後、常州でも同じ感覚を持ちました。ちょっと車で送ってもらうのが普通に 1 時間を軽く超えるのですから。

やっと虹橋空港の南口に到着しました。そこから中に入ると、私たち外国人はパスポートを見せる入り口に行きます。すると、今日の高鉄ではないと言われ困惑しました。すぐに劉老師に連絡をいれ、日にちを変更してもらい、無事に通過しました。次に日本では経験のない荷物検査があります。空港の荷物検査と同じ仕組みです。日本でもいずれ導入しないといけないかもしれませんね。

(吉田紀子)

訃報

2024 年 12 月 31 日に、日中友好協会岡山支部前理事長の竹内和夫さんが亡くなりました。享年 97 歳でした。ご冥福をお祈りいたします。

つきましては、「竹内和夫先生を偲ぶ会」を下記の通り開催するよう準備を進めております。

「竹内和夫先生を偲ぶ会」

- 竹内先生の生前の活動を偲び、次の団体・個人の方々が呼びかけ人となってくださいました。
- ・日本国民救援会岡山県本部
 - ・日中友好協会岡山県支部連合会
 - ・則武透弁護士・近藤幸夫弁護士
 - ・山崎博幸弁護士
 - ・氏平みほ子岡山県議会議員
 - ・中島純男岡山県人権連議長

日時:4 月 26 日(土)12 時 30 分～

場所:岡西公民館

費用:2000 円(お弁当とお茶がつきます)

参加申し込み締め切り日:3 月 31 日

申し込み先 ・真田紀子 電話 090-8609-6974
(日中友好協会岡山支部)
・竹原正樹 電話 086-254-2799
(国民救援会岡山県本部)

1039
2025/2/1



日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouthao.iinaa.net>
メールアドレス
rizhongyouthaoxiehuiokayama@yahoo.co.jp



「春節2025岡山の集い」に参加して

小川涼子

1月29日に岡山プラザホテルで岡山県華僑華人総会主催の「春節2025岡山の集い」があった。120人くらいの参加者があり、日中友好協会からは5人が参加した。

私はいつものように太極扇をやった。年末に行った中国旅行で買った赤色の馬面裙を初めて着た。ちょっと丈が長かったけど、許容範囲だ。

書道や日本舞踊、二胡の演奏もあった。日本舞踊をした方と名刺交換したのだけど、なんと中国人だった。二人で反対になってるね、と笑いあった。また会えるといいな。

恒例のお楽しみ抽選会では、お酒やうどんやらさまざまな景品が提供されていた。目玉は航空券だ。マジほしかった。私が当たったのは、中国やへが提供したもので、これは



日中友好協会倉敷支部映画会

『大地の子』第8部「密告」第9部「父と子」

表記の映画会が1月11日(土)、14時からライフパーク倉敷で開催されました。第8部「密告」は冒頭、陸一心がやっと探し当てた妹敦子の死の場面から始まります。敦子が死んだ朝、東洋製鉄上海事務所長の松本耕次が敦子を訪ねてきました。松本は「敦子は自分の娘だ。」といいます。そこで初めて陸一心と松本耕次は自分たちが実の親子だと気づいたのです。二人で敦子の亡骸を埋葬しました。

参加者の感想を掲載します。

「私も満州生まれで、終戦の時5才。陸一心と同じくらいだと思います。幸い吉林の日本人の多くいる町にいたので、残留孤児にならずに済みましたが、父がシベリアに抑留。15歳の姉を頭に1歳の弟まで5人の子供と母、よく誰も死なずに帰ったと思います。父は1948年生きて帰ってきたので、陸一心一家に比べたらありがたいことです。」(70歳以上女性)

「陸一心の妹敦子との死別、埋葬のシーン、陸徳志と一心の実父松本耕次との初対面のシーンなど感動を呼び起こす名演技、名場面でした。朱旭さん(陸徳志)も近年逝去され、また、陸一心のモデルとなった残留孤児の男性も最近お亡くなりになりましたか?この壮大な映画を通じて永く記録され、歴史に刻まれることでしょう。日中友好活動の原点が人類愛を底流として見事に描写されていました。再興の作品です。」(70歳以上男性)

「かつて肉親捜しのニュースが盛んに報じられたが、その時は肉親が分かったことが大々的に報じられ、自分もよかったと思っていたが、前回の時も思ったことだけれど、日本へ肉親捜しに訪れた人だけでなく、来日したくてもできない人も多くいたのだと思うと考えさせられる。今日の回を見て、実の親、育ての親の両方の心情、そして陸一心の強く印象に残った。」(70歳以上男性)

「軍の肥大化がもたらす現実を、まざまざと知らしめた作品でした。今日、世界各地でそして身近で、同じことが繰り返されているにもかかわらず、われわれの声が小さすぎるのが気になった作品でした。」(70歳以上女性)

「血縁、父との再会、妹の死、考えさせられる。もし戦争がなかったら……。いま中国との仲は良くない。すべてこのような日本人と中国人との葛藤があるのか。また次回があるので楽しみです。」(70歳以上女性)



次回の新聞放送作業は
2月27日(木)午前10時半か
ら民主会館で行います。
前回お手伝いくださった方
です。

犬飼
河井
真田